

第50回県民芸術祭参加事業 令和8年度県内大学連携伝統文化の魅力発信・啓発事業
群馬県立女子大学群馬学センター地域連携事業

ぐんまの

民俗芸能

県立女子大 in

Vol.6

人形浄瑠璃

出演

沼須人形芝居保存会あけぼの座

■ レクチャリ「浄瑠璃王国・ぐんまの文化力」

群馬県立女子大学 教授 築瀬 大輔

■ ワークショップ・公演

沼須人形芝居保存会あけぼの座

寿式三番叟

壺坂靈験記

山の段

2026年 開演 13:00~ (開場 12:30)

6月20日 土

群馬県立女子大学 講堂

入場無料 (要申込)

GUNMA PREFECTURAL WOMEN'S UNIVERSITY
FOLK PERFORMING ARTS OF GUNMA

申込・問合せ

受付期間: 6月19日(金)17:00まで

申込方法: 電話または申込フォーム Tel 027-243-7200

(8:30~17:00 日・月・祝・月祝の場合は翌火曜を除く)

公益財団法人群馬県教育文化事業団

※当日お席に余裕がある場合は予約なしでもご観覧いただけます。



申込フォーム



[主催] 群馬県立女子大学、群馬県、(公財)群馬県教育文化事業団

[協力] NPO法人ぐんま郷土芸能助っ人塾

[後援] 群馬県教育委員会、沼田市、沼田市教育委員会、上毛新聞社、群馬テレビ株式会社、FM GUNMA、第50回県民芸術祭運営委員会

沼須人形芝居保存会あけぼの座

沼田市指定重要有形・無形民俗文化財

沼須人形芝居は、江戸時代末期の安政年間頃に伝わったとされています。明治中期には最盛期を迎えましたが、戦時中に活動が一時途絶えました。その後、1975年（昭和50年）、地域住民の尽力により「沼須人形芝居保存会あけぼの座」として復活し、昨年、復活50周年を迎えました。

起源については、「阿波の旅芸人が伝えた」「榛東村から嫁入りした女性の父親が広めた」など諸説があります。2026年（令和8年）年4月の阿波地域での調査では、人形は阿波のものとは異なる一方、演目には阿波系が多いことが分かり、多様な文化が交わりながら伝えられてきた可能性が見えてきました。現在も調査を続けています。

2023年（令和5年）に群馬県で初めて、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来遺産2022に「沼須人形芝居継承者プロジェクト～江戸時代の技を今につなぐ～」として登録され、現在も県内で唯一の例となっています。



沼須人形の特徴

一人遣いで、ハサミ式の指人形に分類されます。人形衣装の背中から手を差し込む背中差し込み式の立遣いで、カシラのノド木から出た串を挟んで操作します。人形を付けていない手で、人形の着物の裾をさばくところから「ふくさ人形」とも呼ばれます。全体的に小ぶりで、俊敏な動きができ、カシラの動作なども細かい振りが可能です。使い手の人形への感情移入が自然にでき、人形の生きた動きを出すことができます。

昭和51年沼田市指定重要有形民俗文化財、平成7年沼田市指定重要無形民俗文化財



沼須人形芝居

ACCESS

群馬県立女子大学

佐波郡玉村町上之手1395-1



県立女子大
WEBサイト



※駐車場は台数に限りがあります。予めご了承ください。



11月頃開催予定

県内大学連携伝統文化の魅力発信・啓発事業

第50回県民芸術祭参加事業

群馬県立女子大学群馬学センター地域連携事業

ぐんまの民俗芸能in県立女子大 Vol.7

～ 獅子舞 ～

詳細決定次第、群馬県教育文化事業団のホームページ等でご案内いたします。内容は変更となる場合があります。



事業団WEBサイト

守りたい・伝えたい・育てたい
群馬の伝統文化

ぐんま地域文化マップ



地域文化マップ
県内の民俗芸能・
民俗行事を検索



文化マップX
民俗芸能やお祭りの紹介
イベント情報発信